

弓道人の日常の心掛け（2）

2、行射面

矢を射ることは自身の怪我もあるが人を殺めることにもつながる。

弓矢は危険物と理解し、その上に立って取り扱い、行射は真剣に取り組むこと

・行射

- ① 指導者の許可なく的前では引かないこと
- ② 射位における射手相互の距離は、150cm以上、極端に狭いところでは引かないこと
- ③ 他人に向けては絶対引かないこと（まねをしてもいけない）
- ④ 前の射手の弓と弦の間に自分の弓を入れないように注意すること
- ⑤ 矢番えの位置に注意し、低い位置には番えないこと
- ⑥ 行射の時、矢道・安土に人がいるときは矢番え・取懸けをしないこと

・矢取り

- ① 矢を取りに出るとき（矢取り）は、射手の動作を確認して連絡し合い赤旗をだして矢取りを行うこと
- ② 行射中は何があっても矢道に出たり安土に入らない。

・巻藁

- ① 巻藁矢で的前には立たないこと（引かないこと）
- ② 巻藁は巻藁矢を使い、適当な距離で射ること。（至近距離は危険）
- ③ 巻藁から外れたり、中心が硬くなった巻藁からは矢の跳ね返りがあるので注意すること
- ④ 巻藁の前後左右の近いところには絶対人がいないようにすること射るとき最善の注意を払う
- ⑤ 巻き藁の前や後ろを横切らない。
- ⑥ 矢を抜くときは左手を巻藁に当て、右手は矢の根元を持ち、後方に注意しつつ慎重に抜くこと

・その他

- ① 矢束の半分以上の空打ち（矢を番えないで弦を離すこと）をしないこと
- ② 決められた場所以外では、矢をつがえない。
確認のため、つがえる時は矢を人に向けない。
- ③ 髪の毛の多い方や長い方はヘアバンドか鉢巻をする。
- ④ 慣れないうちは、メガネのフレームの大きいものはさける
- ⑤ 指輪・ネックレス・イヤリング・ネクタイ・時計は外す。
- ⑥ 的に向って射る場合、暴発することがあるのでこれを知り安全を期すこと
- ⑨ 酒気帯びての行射は行わないこと